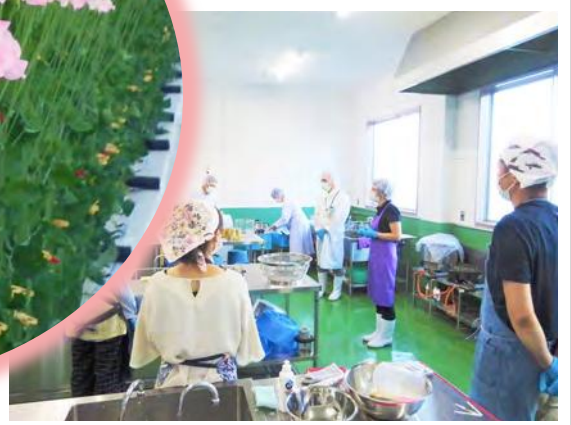


くらしき地域 普及指導センターだより2021

人づくり産地づくりブランドづくり



岡山県備中県民局農林水産事業部
備南広域農業普及指導センター 農畜産物生産課

表紙の写真説明

(左上)
就農オリエンテーションで
産地 PR (総社市)

(右上)
もも栽培指導等

(中央上)
もも「白皇」

(左中央)
いちごチャノホコリダニの
防除指導

(右中央)
水稻収穫適期指導

(左下)
就農オリエンテーションで
産地 PR (倉敷市)

(中央下)
船穂産のスイートピー

(右下)
6次化研修

裏表紙の写真説明

(左上)
大豆採種ほ審査

(右上)
経営改善計画作成支援

(左下)
スイートピーの
部会インスタグラム
開設を支援

(右下)
もも初心者研修会

目次

●特集

ももの供給力強化に取り組んでいます 1、2

●力を入れています!

被膜殻の残らない被膜肥料の現地実証 3

米価下落への備え～水稻乾田直播栽培の収益向上対策～ . . . 3

畦畔管理を省力化!～リモコン草刈機導入後の活用～ 4

高糖度な「シャインマスカット」の生産に向けて 4

水田ごぼうの安定生産技術の確立に向けて 5

土壌改良資材による夏秋なすの生産安定を目指して 5

炭酸ガス施用でいちごの収量が向上しました 6

船穂産スイートピーのブランド力および供給力強化 6

自家産生乳を使ったチーズ工房がオープンしました 7

コロナに負けず新規就農者の募集を行っています!! 7

災害後の事業継続対策にはBCP計画書が重要!! 8

6次産業化の実現に向け頑張っています 8

●受賞おめでとうございます

日本農業賞 9

旭日単光章 9

農林漁業功労者表彰 9、10

岡山県うまいくだもの共進会 10

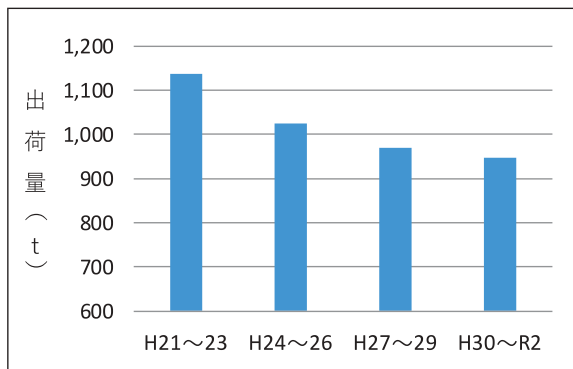
●はじめまして!新農業士です 10、11

●新しく農業を始めます!どうぞよろしく申し上げます 11、12

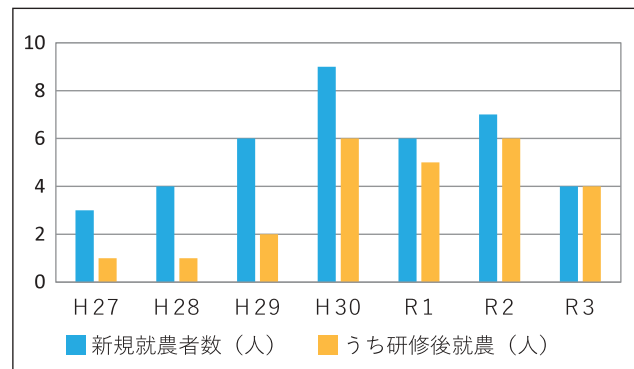
【特集】ももの供給力強化に取り組んでいます

玉島北園芸協会桃部会、浅原園芸組合（倉敷市）
吉備路もも出荷組合（倉敷市、総社市）、総社もも生産組合（総社市）

倉敷地域のももの生産組織は4つあり、県の栽培面積の約3割を占める主要産地です。一方、産地では高齢化が進み、生産者数や栽培面積の縮小に伴う出荷量の減少が続き、供給力の低下が懸念されています。普及指導センターでは平成29年から担い手の確保や大規模経営体の育成などによる供給力強化に取り組み、面積は維持・拡大傾向となっています。この流れを一層進めていくために、新規就農者の早期経営確立、園地確保体制の整備、大規模経営体の育成などに取り組んでいます。



倉敷地域のもも出荷量の推移（3年間平均）



倉敷地域のもも新規就農者数

1 新規就農者の早期経営確立

平成29年から5年間で32人が就農し、担い手は順調に確保されており、それに伴い新規就農者への早期の技術習得や経営管理能力の向上が求められています。

普及指導センターでは、市、JAと連携したサポートチームで定期的に生産者を訪問し、就農状況の確認や今後の経営改善に向けて生産者に合わせたアドバイスをしています。

また、早期の技術習得に向けて、各産地で初心者を対象に栽培講習会も実施しています。さらに、4産地合同の栽培研修会を開催し、技術習得に加え、大規模農家の経営拡大事例を学んだり産地間交流を行いました。経営研修会では、簿記や労務管理等の経営管理能力の向上を進めています。

今後もレベルに応じた技術や経営管理能力の習得、産地間交流を目指して活動していきます。



サポートチームによる新規就農者訪問



初心者対象の栽培講習会

2 園地確保体制の整備

新規就農者や規模拡大農家が順調に増加するに伴い、優良な園地確保の必要性が高まっています。

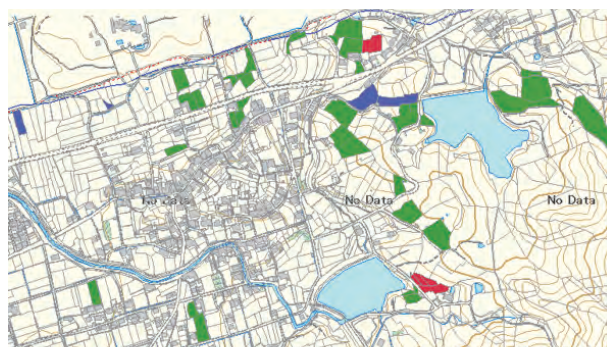
玉島北地区では、関係機関（ソフト部門やハード部門）や部会役員をメンバーとしたプロジェクトチームを結成し、園地流動化に関するアンケートや新たな園地を確保するための候補地情報を収集しています。さらに、総社市のハイブリッドメガ団地の事例調査や情報交換を行いました。

また、吉備路地区でもアンケートで収集した園地情報から園地マップを作成し、園地流動化を進めています。

今後も各産地の意向を踏まえながら、園地確保に向けて活動していきます。



プロジェクトチームによる現地事例調査



園地情報のマッピング

3 大規模経営体の育成

規模拡大には晩生品種の導入が必要不可欠であり、安定生産技術の向上や規模拡大に向けた経営計画の作成支援が求められています。

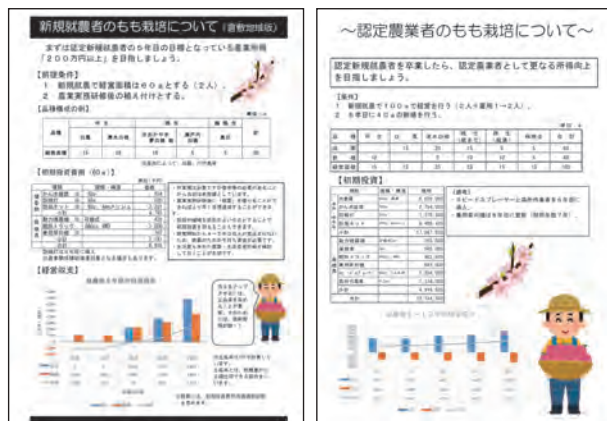
各産地では産地戦略に合う有望な晩生品種を試験導入しており、岡山県産のものの特徴である白くて外観の優れる掛袋の検討や他県で育成された品種の特性調査を行い、望ましい掛袋や岡山県の各産地で栽培した場合の品種特性が把握できました。今後も晩生品種の品質向上に向けて活動していきます。

大規模経営を目指した経営モデルの作成にも取り組み、倉敷地域における品種の組み合わせ、機械・施設の導入時期と使用可能年数、正品率などを生産者から聞き取り実態により則したものにしました。

就農相談会や新規就農者の経営計画作成、認定農業者の経営計画作成などに活用しています。



品種に適した掛袋の検討



倉敷地域版経営モデル

被膜殻の残らない被覆肥料の現地実証 倉敷地方農業技術者連絡協議会（倉敷地域）



水稻被覆肥料の被膜殻流出防止対策の一つとして期待される、硫黄コーティング肥料の現地実証を倉敷市茶屋町で行っています。

この肥料は、施用後、微生物により容易に分解され、土壌中に残存蓄積することがない点で、環境負荷が少ないとされています。「アケボノ」で慣行の被覆肥料と比較した結果、収量は同程度で品質はともに1等となりました。ただし、草丈や稈長が長く倒伏が早く始まるなどの課題もありました。今後も、新しい銘柄や年次変動を確認し、被膜殻流出防止の取り組みを進めていきます。



被膜殻の残らない被覆肥料

生育・収量・品質調査結果

試験区分	稈長	穂長	穂数	一穂 籾数	登熟 歩合	千粒 重	精玄 米重	検査 等級
	cm	cm	本/㎡		%	g	kg/10a	等
硫黄コート肥料	97.4	18.0	424	66	90.4	24.1	603	1
慣行被覆肥料	93.7	18.4	389	72	91.6	24.2	601	1

米価下落への備え～水稻乾田直播栽培の収益向上対策～

農事組合法人服部営農組合（倉敷市）



（農）服部営農組合は、省力・低コスト化を徹底し、全ての水稻作付を乾田直播栽培として経営の安定化を実現してきましたが、米価下落に備えた収益確保対策を検討しています。今年度は多収品種導入による売上額向上を目的とし、「たちはるか」と「アケボノ」の収益性を比較したところ、「たちはるか」は種子代、肥料代が増えても、収益性がやや良好で、乾田直播栽培での導入効果が期待できる結果となりました。今後は安定生産のための栽培方法をさらに検討することとしています。



草姿の比較

生育状況の比較

品 種	出穂期	成熟期	稈長	穂数	一穂 籾数	登熟 歩合	千粒 重	精玄 米重
			cm	本/㎡		%	g	kg/10a
たちはるか	8/31	10/17	88.2	348	97	87.0	23.6	600
								32%UP ↑
アケボノ	8/30	10/14	92.6	312	93	84.7	25.1	453

畦畔管理を省力化! ~リモコン草刈機導入後の活用~

農事組合法人上楨谷営農組合 (総社市)



(農) 上楨谷営農組合は、高齢化による担い手不足に伴い、夏場の草刈作業の省力化を図るためリモコン草刈機を導入しました。

稼働率の向上を目指し、作業委託の可能性を探ろうと、7月28日には備北広域農業普及指導センターが開催したリモコン草刈機実演会に出向き、デモンストレーションを行いました。作業に先立ち現地の畦畔を下見し、傾斜角度、石などの障害物を確認し、対応の可否を判断しました。

当日実際に作業をしたところ、緊急停止時の対応に工夫すべき点が見つかりました。今後、組合ではリモコン草刈機の稼働率を上げるため、積極的に作業受託を行っていく予定です。



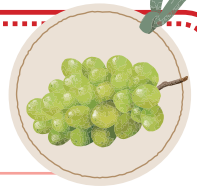
草刈作業の様子



畦畔を上っていくリモコン草刈機

高糖度な「シャインマスカット」の生産に向けて

秦果樹生産出荷組合 (総社市)



近年、倉敷地域では「シャインマスカット」の導入が急速に進んでいます。しかし、梅雨に成熟する加温や無加温作型は、日照不足の影響で糖度上昇が緩慢となる場合があるため、普及指導センターでは高糖度生産技術の確立に取り組んでいます。

令和3年度は、糖度上昇に有利なホルモン処理の濃度や時期を検討しましたが、その差は判然としませんでした。そのため、令和4年度は樹勢や掛け袋など違った視点から糖度上昇に有利な栽培管理について検討することとしています。

1回目GA (ジベレリン) 処理時のホルモン濃度や時期が「シャインマスカット」の果実品質に及ぼす影響 (無加温ハウス、8月19日調査)

処理内容 (1回目GA処理)		果粒重 (g)	糖度 (Brix)
フルメット濃度	処理時期		
2 ppm	満開当日	17.5	17.8
2 ppm	満開3日	18.5	18.0
5 ppm	満開当日	19.1	18.1
5 ppm	満開3日	18.1	18.3

* ジベレリンの濃度は 25ppm



収穫時の果房

水田ごぼうの安定生産技術の確立に向けて

J A 晴れの国岡山東部出荷組合（倉敷市）



倉敷市連島地域は中国地方最大のごぼうの産地ですが、市街化地域に位置するため近年は農地の確保が難しくなっています。

そこで、組合の青年部が中心となり、年々減少している砂地畑の代わりに水田での短根ごぼうを令和2年度から実証しています。今年の3月に試験的に市場へ出荷したところ当産地の砂地畑の短根ごぼうと同程度の評価が得られました。

2年目の今年度は低コストでの雑草対策として湛水などの試験を行っています。普及指導センターでは、来年の技術確立を目標に支援をしていきます。



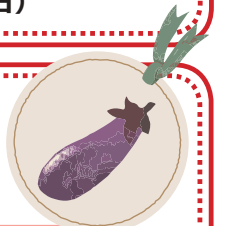
短根ごぼう（令和3年3月18日）



掘取機での深耕（令和3年9月1日）

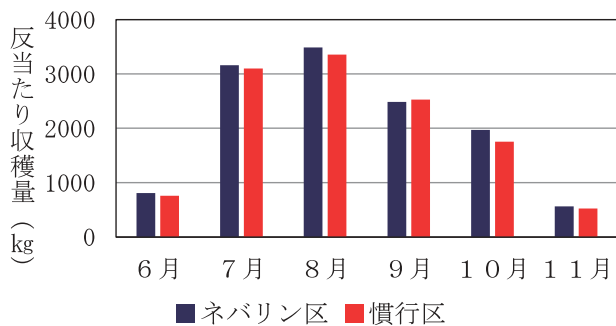
土壌改良資材による夏秋なすの生産安定を目指して

吉備路夏秋ナス生産出荷組合（総社市、倉敷市）



管内の夏秋なすは、長雨や猛暑の影響で9月以降の樹勢や果実品質の低下が問題となっています。そこで、植物が必要とする養分を吸収しやすい状態で根に運び、根張りの向上が期待できる土壌改良資材（商品名：ネバリン）を施用し、栽培期間を通じて安定的に生産できるか検討しました。

その結果、栽培中の生育差は見られませんでした。収量が慣行区より約450kg/10a多くなりました。今後も、収量の向上を目指しながら、安定した夏秋なす生産に取り組めます。



月別収穫量の推移



実証ほ（左：ネバリン区、右：慣行区）

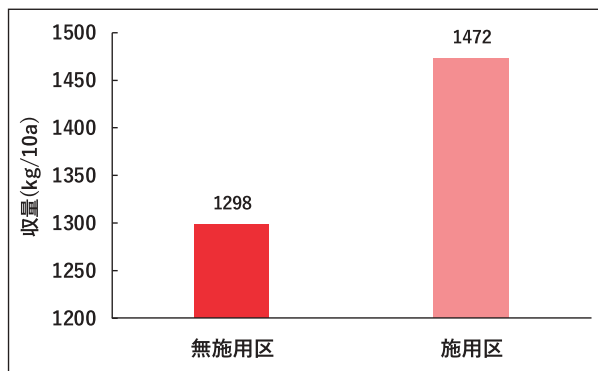
炭酸ガス施用でいちごの収量が向上しました

倉敷地方施設いちご研究会（倉敷市、総社市）



いちごは炭酸ガス（CO₂）をハウス内に施用することで、収量や品質が向上すると言われています。しかし、倉敷地域では炭酸ガス発生装置の導入率が伸び悩んでおり、導入率を高めるため現地で炭酸ガス施用の効果を調査しました。

糖度や酸度に大きな差は認められないものの、特に草高は炭酸ガス施用区で大きくなり収量も施用区で1割程増加しました。引き続き、炭酸ガス施用の効果について実地調査を行い、炭酸ガス発生装置の導入を啓発していきます。



炭酸ガス施用区と無施用区における年間収量

項目	区	炭酸ガス施用後日数			
		14日 (12/17)	25日 (12/28)	36日 (1/8)	50日 (1/22)
糖度(Brix)	施用区	8.3	8.6	8.7	8.7
	無施用区	9.0	8.1	8.3	8.4
酸度(%)	施用区	0.3	0.4	0.5	0.4
	無施用区	0.3	0.4	0.4	0.4
1果重(g)	施用区	27.7	27.7	29.1	22.1
	無施用区	31.4	24.7	18.0	17.1
草高(cm)	施用区	31.2	37.2	39.2	41.2
	無施用区	30.6	34.4	34.0	36.1
積算展開葉数 (枚)	施用区	15.8	20.6	24.2	27.6
	無施用区	16.2	21.0	23.4	26.0

炭酸ガス施用後の日数毎の品質および生育調査結果

船穂産スイートピーのブランド力および供給力強化

J A 晴れの国岡山船穂町花き部会（倉敷市）



普及指導センターでは、産地ブランド育成事業、スイートピー家庭消費需要拡大事業を活用して、船穂産スイートピーのブランド力強化を図っています。部会、関係機関と連携して、実需者調査、部会のインスタグラム開設、輸出に対応した出荷箱の作成、倉敷駅でのPR展示等需要拡大に向けた取組を行うとともにマーケティング戦略の策定を支援しました。また、高品質安定生産につなげるため、農林水産総合センター普及推進課と連携して生産者4戸に環境計測器を導入し、栽培環境の見える化を図っています。



部会、関係機関でブランド力強化について協議



環境計測器による栽培環境の見える化を推進

自家産生乳を使ったチーズ工房がオープンしました びなん酪農組合（倉敷市）



倉敷市玉島の三宅牧場は、後継者の就農を契機にチーズ工房の設立に向けた準備を進めていましたが、令和2年度に「国産乳製品等競争力強化支援事業」により製造施設・機械を整備し、令和3年5月に「倉敷チーズ工房ハルパル」をオープンしました。三宅牧場は、良質生乳出荷者として表彰されるなど、生乳の品質にこだわった乳牛の飼養管理を実践されています。牧場自慢の高品質で新鮮な生乳を原料にしたチーズは、販売当初から大きな反響を呼び、現在は予約のみで予定数量を完売するほどです。今後は、地元の特産品等とのコラボにより、倉敷ならではの特色あるチーズ作りを目指しています。



チーズ工房外観



現在販売中のチーズ
（フロマージュ・ブラン、モッツアレラ、スカモツァ）

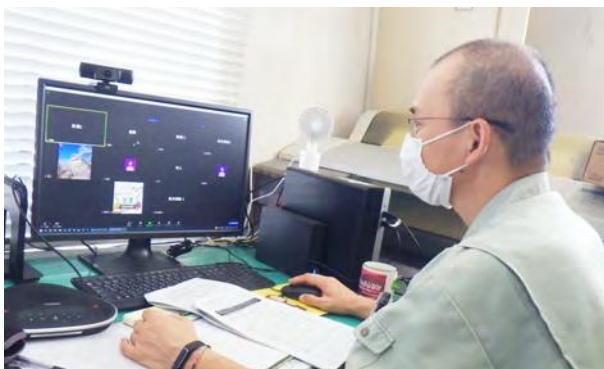
コロナに負けず新規就農者の募集を行っています!!

就農希望者（倉敷地域）



普及指導センターでは、各産地や関係機関と連携して、就農希望者が産地の新たな担い手として定着できるよう活動しており、特に、実際に見てもらいながら産地をPRする就農オリエンテーション（年2回）による研修生の募集に力を入れています。

さらに、県内外の就農相談会やオンライン個別相談などで、より多くの就農希望者に倉敷地域の農業の魅力を発信するとともに、具体的な相談対応も行っています。



オンライン就農相談



就農オリエンテーション

災害後の事業継続対策には BCP 計画書が重要！！

認定農業者等（倉敷、井笠地域）

近年、地震・豪雨災害、新型コロナウイルス等による労働力不足が発生しており、被災後、いち早く事業を継続するために、BCP 計画書（事業継続計画書）の作成が重要になっています。そんな中、管内の花き生産者 K 氏は、今年度、災害時の行動マニュアル等を盛り込んだ BCP 計画書の見直しに、いち早く取り組まれました。

計画書は、国で作成された BCP 計画書を参考にしたり、岡山県農業経営相談所の専門家派遣の助言を得ながら作成することもできます。まずは、我が家の自己点検から取組んでみましょう！

BCP の効果

想定外の災害等への的確な対応や早期の復旧が可能となります。



BCP 計画書を説明する様子

6 次産業化の実現に向け頑張っています

6 次産業化志向経営体（倉敷地域）

倉敷地域の 6 次産業化を目指している農業者を対象に「6 次産業化研修会」を 3 回開催し、HACCP プラン作成や HACCP プランに則したピクルス、ジャムの瓶詰め加工の実習等を行いました。6 年前から同様の研修会を開催していますが、毎年新たな参加者があり、過去の受講生の中にはジェラートや観光農園、ジャム等で夢を実現している農業者もいます。

6 次産業化に意欲を持っている農業者が増えており、今後も 6 次産業化の実現に向けて支援をしていきます。



HACCP 研修会



瓶詰め加工実習

受賞おめでとうございます

日本農業賞優秀賞

浅原園芸組合（倉敷市）

ももの超弱せん定栽培「岡山自然流」による高品質安定生産、生産者自ら行う販売・PR活動、産地の維持発展に向けた新規参入者の確保・育成など産地の特徴を活かした様々な活動に取り組まれています。コンパクトな産地ですが「小回りが利く」ことを強みとして考え、生産、販売に一丸となった活動が高く評価されました。



令和2年秋の叙勲 旭日単光章

高田 勉さん（倉敷市）

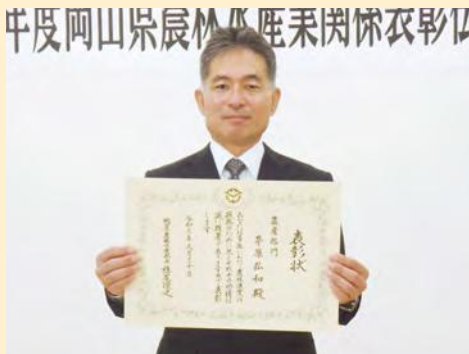
昭和45年の就農以来、法人化やウインドレス鶏舎の導入などで卓越した経営手腕を発揮され、県内有数の大規模採卵鶏農場に発展させるとともに、地域環境に配慮した養鶏業を実践されています。県内の主要畜産団体の要職も務められ、広く畜産業界の発展に貢献されています。



農林漁業功労者表彰 農林水産部長表彰

茅原 弘和さん（総社市）

なす、白ねぎ、黒大豆等の複合経営に取り組み、なすでは県内でも例が少ないハウスの促成栽培と夏秋栽培を組み合わせた周年出荷体制を確立し、地域の優良事例となっています。また、担い手育成に積極的に取り組み、新規栽培希望者を受け入れ、就農へ導くなど産地強化に尽力されています。



農林漁業功労者表彰 農林水産部長表彰

難波 健治さん（倉敷市）

早生から晩生まで幅広い品種のももを栽培し、長期出荷を実現するとともに市場と連携した首都圏への販売強化に取り組み部会の発展に貢献されました。また、荒廃園等の再生に向け、プロジェクトチームを立ち上げ、地域住民の合意形成を図り、新規栽培者等への園地継承に取り組まれています。



農林漁業功労者表彰 農林水産部長表彰

野瀬 弘三さん（総社市）

収穫時期が異なるぶどうの品種と作型を組み合わせ、4月下旬から11月上旬までの長期出荷を実現し、地域への波及に貢献されました。また、関係機関と連携して組合内に「担い手チーム」を組織し、新規就農者の定着のため、園地集積、技術伝承等の支援体制の整備に努められています。

3年度岡山県農林水産業関係表彰伝達



岡山県うまいくだもの共進会入賞 岡山県知事賞&新人賞

岡本 和正さん（倉敷市）

【基幹品目】果樹（もも）

他県から移住し、平成31年に就農し、現在夫婦2人で「清水白桃」など8品種のもも1.5haを栽培されています（育成樹含む）。県育成品種「白皇」も栽培し、先輩農家と技術交流しつつ安定生産を目指しています。倉敷市農業後継者クラブの会長を務め、新規就農者と地域農業者のパイプ役として活躍されています。



はじめまして！ 新農業士です

浅野 三門さん（倉敷市船穂町船穂）

【基幹品目】果樹（ぶどう）

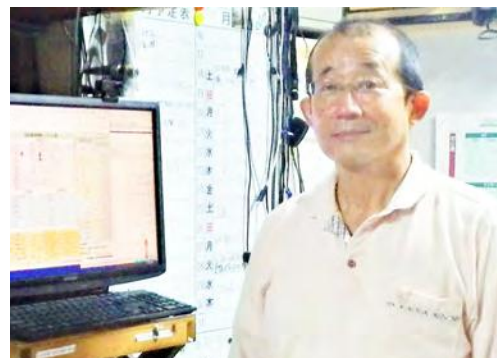
「マスカット・オブ・アレキサンドリア」の5月出荷や「シャインマスカット」の加温栽培にいち早く取り組み、部会として選果の徹底や市場との連携、PR活動を通じて船穂ブランドの強化を図っています。また若手農業者への技術指導や交流など地域の担い手育成に努めていきたいと思ひます。



木下 良一さん（倉敷市船穂町船穂）

【基幹品目】花き（スイートピー）

地域に先駆けて点滴灌水装置等の省力化技術や環境制御システムを開発し、地域に普及させるとともにICT技術を活用し環境負荷への配慮をしながら持続可能で安定した生産に取り組んでいます。産地の維持・発展のために新規就農者の確保育成に協力したいと思ひます。



植野 利昭さん (倉敷市茶屋町)

【基幹品目】作物 (水稲・麦)

宅地と農地が混在する地域で水稲と麦の二毛作を行っています。機械作業の省力化や効率化、栽培管理の省力・低コスト化を図って、安定生産を実現しています。また大型稲作研究会の活動を通じて後輩農業者との交流や情報交換を行い、地域の担い手育成に向け努力しています。



板敷 隆史さん (総社市地頭片山)

【基幹品目】果樹 (もも)

平成 15 年に新規参入し、早生品種から超極晩生品種「冬桃がたり」までの長期栽培・長期出荷をすることで、年間の労力を分散させた経営をしています。岡山県の白桃栽培面積の拡大と安定生産を図るため、若手農家へのアドバイスや就農希望者の就農相談に対応し、その方に合った産地や栽培規模などの細かいアドバイスをしていきたいと思っています。



新しく農業を始めます! どうぞよろしくお願ひします

©岡山県
「ももっち」



小野将太さん
〔倉敷市、ぶどう〕

おいしいぶどうを作れるよう頑張ります。



高杉聡志さん
〔倉敷市、リーフレタス〕

美味しい野菜作りを目指します。



佐々木敏宏さん
〔倉敷市、水稲〕

色々な栽培方法にチャレンジして農業の奥深さを楽しみたいと思います。



畑本玲於さん
〔倉敷市、ぶどう〕

皆に喜んでもらえるぶどうをつくれるようになりたいです。



中原憲行さん
〔倉敷市、いちご〕

地域の人に喜んでもらえる美味しいいちごを作れるよう頑張ります。



榊原佳奈さん
〔倉敷市、もも〕

地域に貢献できるように、美味しくて良い桃をたくさん作れるように頑張ります。



西木宗久さん
〔倉敷市、もも〕

岡山のももは日本一! 誇りを持って最高のももを作ります!



佐藤 度さん
〔倉敷市、露地野菜〕

皆さんに喜んでいただける美味しい野菜を作ります。



高谷直樹さん
〔総社市、もも〕

一生勉強。おいしい桃、作ります!



慶祐俊文さん
〔総社市、もも〕

先輩方に負けないような高品質なももを作れるよう、日々努力したいと思います。



藤井久美さん
〔総社市、露地野菜〕

年間通じて安全安心な野菜を供給できるよう頑張ります。



間野岳彦さん
〔総社市、もも〕

皆様への感謝を忘れず、次にたすきを繋いでいけるよう頑張ります。



宮本和浩さん
〔総社市、露地野菜〕

水田で野菜の規模拡大を目指しています。

* 令和3年2月~令和4年1月までに新規就農者として市、町から報告のあった人を掲載しています。



岡山県備中県民局農林水産事業部

備南広域農業普及指導センター

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島 1083 番地

☎ (086) 434-7047 (革新農業推進班)

☎ (086) 434-7048 (担い手・農産班)

☎ (086) 434-7049 (園芸班)

FAX (086) 421-8253

メール kura-fukyu@pref.okayama.lg.jp

H P <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/95/>

農畜産物生産課

☎ (086) 434-7033 (畜産第一班)

FAX (086) 425-4921